

## ■寅卯天中殺同士の相性

同じ天中殺同士という関係は、出会った途端に、なんとなく“ウマが合う”というような相手になります。初めて会ったときに「なんだか知っている人みたい」と感じるような相手というのは、たいがい同じ天中殺同士だということが多いものです。

そんな経験を、お持ちでしょう。(相手が、組織・会社の場合でも同様です。)

同質の力を持っているから同調しやすいという関係ですから、損も得もあまりないし、特別なマイナス面も少ないので。基本的には、こういう気心の知れた関係というのは、目上であれ親子、夫婦であれ、友人であれ、まず一応は問題の少ない相手と考えていいと思います。ただし、同じ天中殺同士というのは、人生観や価値観など、共通するものを持っているので、仲が良いとなると、もう大変親密になる反面、相容れないとなると、收拾がつかないような険悪な仲になってしまいます。

とくに寅卯天中殺同士ですと、言動の激しい“東方が欠落する者同士”ですから、お互いの言動の激しさがさらに増大させられるという影響関係です。

しかし、普通はもともとが同調する力を持っているので、すぐに仲直りして元通りにつき合うということが多いのです。

良い相性だといいましたが、同じ者同士は損も得も少ない……つまり、発展性も少ない関係になるのはやむをえません。ですから、仕事上のパートナーなどが、“東方欠落”的寅卯天中殺同士ですと、お互いに用心ばかりしたり、堅すぎるようになって、なかなか冒険をしようという気持ちが引き出されてこないのです。ここでもう少し資金を投入すればうまくいくというようなときに、思いきった冒険が出来ず、安全に安全にと考えてしまう組み合わせです。

“東方欠落”的寅卯天中殺同士ですと、発展しにくいわけですが、それでいて、なぜか気忙しく、のんびりと過ごすことが出来にくくなってしまいます。

仕事上の上司と部下という関係で、互いに激しい議論をしあい、忙しく動き回って、いかにも熱心に働いているのに、一向に物ごとがまとまってこない、実際的な企画や方針が出てこない……というような組み合わせがあるものです。

「あんなに忙しそうなのに……いったい何をしているのだ？」などと、周囲から不思議がられるような前進力のない組み合わせです。

おそらく、同じ天中殺同士の組み合わせのなかでも、寅卯天中殺同士の組み合わせが一番こういった傾向が出やすいのです。

夫婦の場合でも、こういうことが少なくありません。ぴったり呼吸の合った相性になるか、決定的に破局になるかのどちらかです。

そのうえ、二代運、三代運を持っている寅卯天中殺同士が組み合わされるので、「親」の存在がとても大きな力になってきます。

両親とか、人生の先輩とか、ときには上司とかの影響で生き方を左右されることが少なくないと言っていいでしょう。

ですから、この寅卯天中殺同士の“相性が良い”という関係は、あまり深く関わらない方がいい関係での相性だと思っていた方が無難かもしれません。